

# 一喜一憂の楽しみ

## ばんえい競馬の勝馬予想

勝馬予想が難しいと言われるばんえい競馬。速さだけを競う平地競馬と違い、さまざまな要素からレース展開を読み解くことが最大の面白さです。

### 予想の難しさが面白い

ばんえい競馬は、平地競馬に比べてレース予想が難しいと言われる。重賞競走で勝った実力馬でも優勝を重ねることは難しく、大本命とされたレースで苦戦することもしばしば。

平地競馬では、騎手の力が占め



入口では、ばんえい十勝版専門誌を販売している。

る割合は三割、馬の実力が七割と言われるのに対し、ばんえい競馬は騎手七割、馬三割とも言われます。そのため、ノーマークの馬が騎手の手綱さばきで善戦し、予想外の大穴が出ることも珍しくありません。この予想の難しさこそがばんえい競馬の面白さでもあり、奥深さでもあります。

### レースを左右する馬場水分

ばんえい競馬のレース展開は、平地競馬以上に馬場の状態に大きく影響されます。この馬場状態を表すのが「馬場水分」です。

雨や雪が降り、馬場に含まれる水分量が多いとそりがよく滑り、好タイムを出しやすくなります。この馬場の状態を「軽馬場」と呼びます。反対に好天続きで馬場が乾燥していると、そりの抵抗が増

### 波乱が高配当を生むことも

このように、馬、騎手、馬場状態、重量などが複雑に絡み合っただけでレースが展開されるばんえい競馬。予想が的中しにくく高配当になることもあります。例えば重量が軽減される牝馬に新人騎手が乗り、分量多めの軽馬場で並みいる強豪をかわし、逃げ切って優勝ということも起こり得ます。

速さを競うだけではない障害レースなので、さまざまな要素を読み解き、大穴を狙うのも楽しみのうち。当てるのが難しい三連単は高配当になりやすく、ファンの人気を集めています。

## ばんえい十勝の勝馬投票券の種類

ばんえい十勝の勝馬投票券（馬券）は、比較的当たりやすい複勝から、高配当が期待される三連単まで8種類。加えて、インターネット限定販売の5重勝・7重勝単勝式があります。

- ☆単勝（単勝式）  
1着に入る馬1頭を当てる。
- ☆複勝（複勝式）  
3着までに入る馬1頭を当てる。  
(出走頭数が7頭以下の場合は2着まで)
- ☆枠複（枠番連勝複式）  
1着と2着に入る馬2頭の枠番号の組み合わせを当てる。
- ☆馬複（馬番連勝複式）  
1着と2着に入る馬2頭の馬番号の組み合わせを当てる。
- ☆馬単（馬番連勝単式）  
1着と2着に入る馬2頭の馬番号を着順通りに当てる。
- ☆ワイド（拡大馬番連勝複式）  
3着までに入る馬2頭の組み合わせを当てる。
- ☆三連複（三連勝複式）  
3着までに入る馬3頭の組み合わせを当てる。
- ☆三連単（三連勝単式）  
3着までに入る馬3頭の馬番号を着順通りに当てる。
- ☆5重勝単勝式  
指定5レースの1着に入る馬すべてを当てる。
- ☆7重勝単勝式  
指定7レースの1着に入る馬すべてを当てる。

## 普通競走のばんえい重量（平成28年度）

○5歳以上及び3・4歳で通算取得賞金70万円以上の馬

重量区分	オープン	A 1	A 2	B 1	B 2	B 3	B 4
	400万円以上	400万円未満	300万円未満	240万円未満	180万円未満	140万円未満	100万円未満
第1回～第3回	660kg	650kg	640kg	630kg	620kg	610kg	600kg
第4回～第6回	670kg	660kg	650kg	640kg	630kg	620kg	610kg
第7回～第8回	680kg	670kg	660kg	650kg	640kg	630kg	620kg
第9回～第10回	680kg	670kg	660kg	650kg	640kg	630kg	620kg
第11回～第12回	690kg	680kg	670kg	660kg	650kg	640kg	630kg
第13回～第15回	700kg	690kg	680kg	670kg	660kg	650kg	640kg
第16回～第18回	710kg	700kg	690kg	680kg	670kg	660kg	650kg
第19回～第21回	720kg	710kg	700kg	690kg	680kg	670kg	660kg
第22回～第24回	730kg	720kg	710kg	700kg	690kg	680kg	670kg
第25回～第26回	740kg	730kg	720kg	710kg	700kg	690kg	680kg

○3・4歳で通算取得賞金70万円未満の馬

C 1	C 2
70万円未満	30万円未満
580kg	570kg
590kg	580kg
600kg	590kg
610kg	600kg
620kg	610kg
630kg	620kg
640kg	630kg
650kg	640kg
660kg	650kg
670kg	660kg

※2歳馬については別基準



### ハンデもレースを面白くする

レース予想のもうひとつのポイントは、馬がひく重量です。ばん

えい競走馬は、馬齢と通算取得賞金によって格付け（クラス分け）されています。各馬がひく重量（ばんえい重量）はこの格付けに応じて決められており、開催回を重ねるとその重量は増えていきます（表参照）。好成績を上げて格付けが上がった馬は、重量も増えます。さらに重賞競走の場合、各馬の取得賞金額に応じて重量が増加されるレースもあります。つまり、強い馬ほど負担重量が重くなるのです。

反対に、牝馬は二十キロ、二歳及び三歳のせん馬は十キロ、重量が軽減されるといってハンデがあります。騎手重量についても規定は七十七キロですが、女性騎手はキャリアによって十キロまたは二十キロ、男性騎手も新人時代は十キロ減量されるので、馬の負担がそれだけ軽くなります。こうしたハンデは実力差を調整し、白熱